

「南区まちづくり活動サポート事業」実施報告書

平成 31 年 3 月 22 日

団体名 しろね大風タウンガイド

代表者氏名 高橋直廣

1. 提案事業名

白根商店街空き家解消・誇れる地元発信事業

2. 事業内容及び実施写真

(1) 空き家対策講演会の実施

■日程：12月13日（木）19:00~21:00

■会場：旧泉三（白根商店街内）

■概要：①「ここがスゴイ！白根の歴史的な町屋について」しろね町屋あるき研究会 加藤健二氏

②「歴史的な町並みを生かしたまちづくりについて」新潟大学工学部 岡崎篤行教授

③質疑応答など ※添付資料①チラシを参照

■参加者数：50名

■内容：加藤氏からは新潟大学で過去研究された白根の町屋の特徴をお話いただき、白根の町屋の魅力について地元の方へ伝えることができた。県内でも有数の、連続的な町屋の保存率について、東京大学の教授も驚いたエピソードなどを聞き、参加者からは感心の声が上がっていた。

岡崎教授からは、現在の歴史的な町並みを生かしたまちづくりの現状や、金沢市や京都市の事例紹介、今後の新潟市の街並みを生かしたまちづくりの在り方について講演いただいた。

参加者からは特に、歴史的なまちづくりについて、重要文化財のある地域において利用できる国の補助金についての活用に関して、非常に高い関心が寄せられていた。



(2) 白根をしろーね新聞の発行（※添付資料②資料参照）

白根の町屋に関する情報をまとめた新聞を制作し、南区内で新聞折り込みにより PR。

■制作：凧っこ 13 人衆などのキャラクターデザインを行っている本間日菜氏に依頼。 地元の人材を活用し、制作を行うことができた。

■発信方法：3月16日発行の新聞折り込みを実施、Facebook での発信も実施した。

■発信先：白根地区内（約 4,000 軒）、協力店舗、関係施設等に配布、配置。

(3) 商店街での写真展

商店街内との連携を行うためのコミュニケーションのきっかけとするため、写真展と題し商店街内の商店や空き店舗に写真の掲示を行った。

■実施：3月11日～4月末まで

■参加店舗：4店舗（3月20日現在）

※実施にあたり、商店街の方から聞き取りなどを実施することができた。



(4) 今昔写真イベントの実施

■日程：3月17日（日）13:00～16:00

■会場：旧泉三（白根商店街内）

■主催：今昔写真プロジェクト、しろね大風タウンガイド

（※今昔写真プロジェクトとの共同開催）

■概要：新潟今昔写真の会は、ご家庭に眠る「昔の写真」を収集し、そこに写る街並みの「現在の姿」を撮り歩くイベントを実施。当日は、しろね大風タウンガイドも参加し、「昔の写真」にまつわる話を伺いながら白根商店街の町家を撮り歩くことで、参加頂いた方々に古き良き町家に触れてもらい、街の魅力をより感じてもらうきっかけとする。

■参加者：一般参加者 11 名、タウンガイド 9 名



3. 事業実施の評価と課題

- (1) の講演の実施により、白根の町屋の啓発や、町屋という資源を活用したまちづくりについて新潟大学の先生より講演いただくことで、下記の効果があった。
- ① 白根の町屋の魅力や他地域にはない重要性についての啓発が行えた
 - ② 歴史的な街並みの保存をテーマとして、今後のまちづくりにおいて住民の学ぶ機会につながった。
 - ③ 住民と団体とのコミュニケーションがとれ、今後の活動につながった。
 - ▶ 特に、過去の古い写真などを媒介にすると、会話や話を初めてする方ともうまくコミュニケーションをとることができた。
- (例：古い写真をどうしたらいいのか。何か空き家をカフェなどにしたい…等)
- (2) しろねをしろーね新聞では、(1) の講演内容をはじめとして、白根の魅力を伝える内容をイラストつきで作成した。新聞折り込みによって、白根地区内の地元の人をターゲットとして情報発信をすることができた。SNS などでの発信も行い、地域内外から関心を高めることができた。
- (3) (1) の空き家講演会において、昔の商店街の「写真」を媒介にすることで、地元の方からお話を伺うきっかけとなった。このことから、商店街の店舗において写真展と題し、空き家・空き店舗も含めて写真展示を行うことで、商店街の方とのコミュニケーションにつなげた。
- (4) 今昔写真@白根商店街を実施したことによって、ソトの人に対して、地元の昔の歴史を語る場をつくりだすことができた。これまで「地元には何もない」という視点から、「自分が知っているまちの歴史は面白い」という経験を通し、地元の方の視点を変えることができた。また、同時にイベント目的で白根へ来た方（地域外の方）への発信も行い、参加者からは「あまり来たことはなかったが、色々な歴史が知れて面白かった。また白根にきたい」との感想をもらうこともできた。

4. その他提案

■「歴史的町並みを生かしたまちづくり法」の活用を

現在、新潟市古町で歴史を生かしたまちづくり法を活用して、町並みを保存し改修していく計画がある。国の重要文化財のある地域しか使うことができないが、白根地域は笹川邸があるため活用が可能である。今後、活用に向けて関係団体と連携し、地域としても積極的に取り組むべきと考える。

■調査研究活動を通して

他の地域では、町屋に住みたいという若い女性が SNS を見て増えていることから、シェアハウスに改築して SNS 発信したり、サテライトオフィス、六斎市を利用したマルシェイベントの定期開催や団らんコーナーの開設、営業中の店舗にハンドメイドの商品を陳列販売するなどして効果をあげている実績を知ることができた。今後、SNS 等を効果的に活用する方法も含め、関係機関団体がネットワークを組んで検討していくことを提案したい。

■今後の取り組みについて

しろね大風タウンガイドでは、今後もまちなかサイン整備事業を実施し、引き続き地元住民が地域の魅力に気づき、誇りを持つことのできる事業を継続的に実施していく予定である。

空き家対策 講演会のご案内

県内有数の町屋
保存率の高さ！

新潟大学も
調査に来た！

何にも見る
もんなんか
ねえ

空き家に
なったら
どうしよう

あそこのおうち、
またなくなったね



**あなたのお宅、空き家になったらどうしますか？
更地にするしかないのでしょうか…？！**

しろね大風タウンガイドでは、白根のまちの魅力をお客様へ案内しています。
しかし、ここ最近、お客様に人気の「町屋」の数がどんどん減っているような…

「このままでは、案内する素敵なまちなみが消えてしまう！！」

危機感を持ったタウンガイドでは、町家の魅力を知り、空き家とならない、
もなくなってしまっても新たに活用できるような方法がないか、などの調査などを
行っていきます！少しでも魅力的な白根のまちを残していくため、空き家の不安を
無くすため、みなさんで聴いてみませんか？

◆日程：12月13日（木） 19時～21時

◆会場：泉三（庭幸酒店隣）

◆内容 ※現在調整中のため、内容は変更する場合がございます。

○ここがスゴイ！白根の歴史的な町屋について（仮）

白根の町屋をテーマに、新潟大学の調査結果を発表します！

○歴史的な街並みを生かしたまちづくりについて（仮）

新潟大学 岡崎教授より、他の町の先進事例を伺います。

○白根の町屋を生かすために…

～空き家対策のための調査をします～



世界一の大風合戦と、伝統的建築物が残る町屋の街並みを案内します。

しろね大風タウンガイド

問合せ先

白根大風タウンガイド：空き家活用担当
小林（携帯：080-6617-3926）

白根の町屋にびびり

大学教授も
知らなかった!



町屋の残存率がダントツ!

白根商店街の町並みが歴史的な価値があることは、ご存知かにか? 町屋の割合が34%もあるのが、ここ白根商店街なのに。34%がどれだけの驚異的な数字かという、国の保存地区(京都、川越等)の平均値は、約30%だといえ、このすごさがわかるにかね! この割合は、新潟県内でもトップクラスなのに! 世界遺産の認定などに取り組む、ある大学教授が、白根の町並みの写真を見て、「え、こんなすごい町並みが、残ってるところがまだあるの?!」と驚かされた逸話もあるにか。

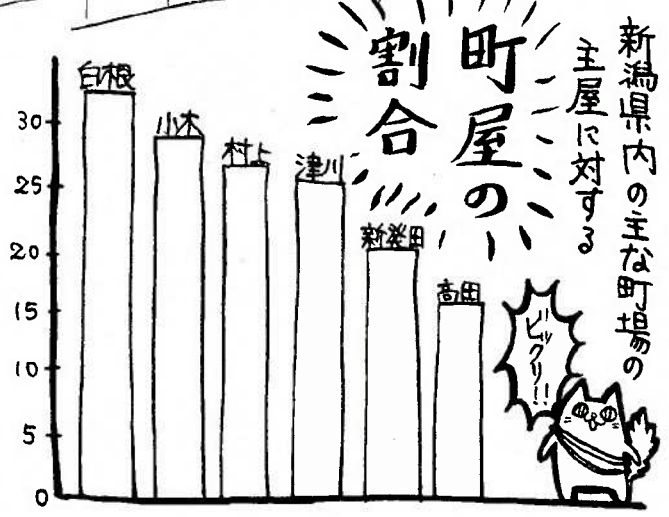


また、だれもしらない
白根のすごさを白根の
人達と共有したいにか〜



白根をわ

発行: しほ大鳳
タウンガイド
TEL: 070-4296-3345
mail: shironetown@yahoo.co.jp



▷とっさで、町屋、てなんなの?

町屋とは、商人や職人の伝統的な住居(お店や作業場を兼用)。一の町から魚町には、戦前に建てられた町屋が多く残っているにか!

あたらしいしきをここにいたしほはレベル2にあげた

自己紹介にか

ボクは、しほ大鳳タウンガイドのマスコット

マフのこは、大鳳の結い

一目ぼれせんにか!

なんでシロネが、て?

白根の人にはあたりまえ!
よその人が「しらね」白根

世界に2つしかないマンホールが白根と味方に1つずつ存在するのを知ってる?

一年のうち360日あまりフタをさして風合戦期間中(5日間)だけホールを立てると『風縄をもっていかぬよう巻きつけホール』(名所菓業)の登場!! このマンホールは、白根の人には、あたりまえでも、よその人には???だけ謎の設備だ!!

???

空き家の調査アンケートにご協力をお願いします!

空き家になった後も残しておきたい

空き家になったらどうしよう

何か活用できないかな

と疑問をお持ちのみなさん
ご意見お聞かせ下さい!

しほ大鳳
タウンガイドでは
空き家の不安や、
利活用について、
アンケートを行います
(白根地域のみ)

アンケートでいただいた意見は今後の活動の参考にさせていただきます

白根のまちをおもしろく

～まちなかサイン構想～

しろね大風タウンガイドでは、白根の見所を紹介する看板（サイン）の設置を三年計画で構想中。12月13日と1月24日に連絡会が開かれました。大勢の人にあつまってもらい意見交換をして、大変盛り上がりました。地元の方からは、「昔の男の子は、堀で凧あげ遊びをよ、はらやっていたんだ」と昔の町の様子をお話していただきました。また、これからの白根を考える場面では、「地元の方がよそから来た人に自慢げに白根のまちのことを話せるようにしたい」など、今後のまちの未来についてもたくさん意見がでてきました。次回は6月20日（木）19時 白根学習館で開催予定。参加者の皆さんの熱い思いが、白根のまちをもっとおもしろくしますPP

新潟今昔写真の会

◎白根商店街

日時 3月17日（日）13:00～16:30

会場 泉三呉服店

（〒950-1217 新潟市南区白根3155）

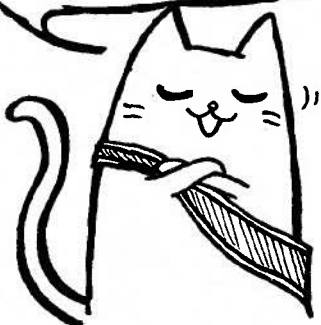
※駐車場は、商店街内の無料駐車場をお使い下さい。

新潟今昔写真とは、ご家庭に眠る「昔の写真」を集め、そこに写る街並み「現在の姿」を撮りおくイベントです。

イベントでは昔の写真を選び「その写真がどの場所から撮ったものか探し当てます。しろね大風タウンガイドも場所探しをお手伝いします。

撮影した写真は、昔の写真と比べることのできるアプリ「新潟今昔写真アプリ」に取り込まれ多くの人から見てもらえます！

いろいろな楽しそうなイベントがあるにや～どこれに申し込もうか迷うにやん...



ガイド体験セミナーも始まるよ!!
くわしくはタウンガイドへ



すべてのご意見・お問い合わせ
お申し込みは、こちらまで

しろね大風タウンガイド

TEL: 070-4296-3345

mail: shironetown@yahoo.co.jp

※お電話は、9:00～18:00まで受け付け

一日限定!! 特別企画

「白根の大風ナクリ+まちあるき」

とき 2019年4月21日（日）午前10時～正午

ところ 新潟市南区役所 集合出発

凧合戦に使用する「凧」は、それぞれ水のチームが自分たちで手づくりするにや。

畳24畳大の凧100枚以上を一斉に色ぬりする光景はこの時期限定にや!!

